

自分の未来を創造するワークショップVer.2.0

～前刀 禎明 氏×滝教育研究所 特別企画～

【講座概要】

2025年8月より実施した全6回のワークショップでは、生徒自身が、自分の未来について真剣に考える機会となりました。アプリ「DEARWONDER+」を活用し、AIによる思いがけない問いかけにより、自分の可能性が創造的に広がる場面が数多くみられました。プレゼンテーションの場面においては、前刀氏から、さらなる問いかけやアドバイスが一人一人に行われ、発表する内容が回を追う毎に深まり、また積極性も高まりました。受講生からは、「今まで自分のことについて真剣に考える機会があまりなかったが、自分で自分の可能性に気づく良い機会になった」「今までは台本があっても人前で話すのは苦勞していたが、自分の考えを発表することへのハードルが下がった」「最初は親に言われて参加してみたが、参加して本当に良かった。プレゼン力もあがったと思う」「自分の将来について考えるきっかけになった」などの感想が寄せられました。

2026年度版は、期間を全10回に拡大し、「内省」による自己の可能性を広げるだけでなく、テクノロジーの進化やグローバルな視点を取り入れ、めまぐるしく変化する社会の中で、自分の真の価値とは何か、どのような価値を社会に提供できるか、そういった観点でも思考を深めていきます。

本ワークショップでは、自分自身の“欲求”や“可能性”を見つめ直し、「自分とは何か」「どう生きたいか」という本質的な問いに向き合います。DEARWONDER+を用いながら、ディスカッション、プレゼンテーションなどを通じて、自己の視野・創造力・行動力を広げていき、子どもたちの内なる可能性を引き出していくことを目指します。

【講師紹介】

前刀 禎明 氏 1977年(昭和52年) 滝高等学校 普通科 卒業

慶應義塾大学 大学院 理工学研究科 管理工学専攻修士課程 修了ディアワンダー株式会社 代表取締役CEO&CWO

ソニー、ベイン・アンド・カンパニー、ウォルト・ディズニー、AOLなどを経て、アップル米国本社副社長兼 日本法人代表取締役に就任。スティーブ・ジョブズ 氏に託された日本市場で、危機的であったアップルを復活させた。

新たな挑戦として設立したディアワンダーでは、AIを創造的に活用する「DEARWONDER+」を開発。CQ(好奇心・創造性指数)を高めて未来を創造するCreative Desire を育むワンダーラーニング事業を開発している。セルフイノベーション事業により、企業のトランスフォーメーションを支援するリアルディア代表取締役CEOを兼務。

【実施期間】

2026年4月～2027年2月(全10回)

月1回程度開催予定

【対象者】

滝中学校3年生～高校2年生 (定員15名)

【実施内容】(各回共通構成)

- イントロダクション・インスピレーショントーク(前刀禎明氏による講話や事例共有)
- ワークショップタイム(DEARWONDER+を活用し、自分の内面や未来を探求)
- グループディスカッション(他者との対話を通して視野を拡張)
- ミニプレゼンテーション(気づきや想いを言語化・可視化)

【各回予定テーマ】(進捗状況によって変更する場合がございます)

- 第1回：前刀禎明氏に学ぶ「自分を創造するとは」-DEARWONDER+がどのような手助けになるのか
第2回：2027年の世界を予測する-世界の進化のスピードを感じてみる
第3回：自分の可能性マップを更新する-自分史の作成・自分の強みを知る
第4回：前刀禎明氏に学ぶ「起業家思考とは」-自分を創造し続けることとは
第5回：世界の課題と私の興味をつなげる-自分の力をどのように社会に還元できるか
第6回：失敗から学ぶ力-つまずいた時の思考
第7回：グローバル視点で考える-活躍の場はローカル？グローバル？グローカル？
第8回：自分だけのキャリア戦略を描く-特別な自分象を作ろう！
第9回：実現に向けての目標と実行計画-夢を夢のままで終わらせない
第10回：未来宣言プレゼンテーション-未来の自分を創造していきましょう！

【費用(税込み)】

受講料 全10回 33,000円

教材費 DEARWONDER+ 月額1,650円×12ヶ月=19,800円 2026年4月～2027年3月

※中学校3年生は既に導入済みのため教材費不要(受講料33,000円のみ)

【運営体制】

主催・企画監修：滝教育研究所／前刀禎明 氏企画運営サポート：ディアワンダー株式会社

※各回本校教員が1名以上つきます。

【特徴】

- 前刀 禎明 氏による講演や助言を受けられます。(現地、またはオンライン上で参加)
- 最新AI・社会トレンドを踏まえた未来予測とキャリア設計
- DEARWONDER+を用いた直感・創造力重視のワーク
- 起業家思考やグローバル視点など、多角的な視野の獲得
- 一人ひとりの“未来”を可視化・言語化
- 他者との対話を通じた“視野の拡張”